



市長 からの 手紙

42 コンピューター技術 への危惧

今年5月から、SNS(ソーシャルネットワークサービス)の一つであるフェイスブックを始めました。フェイスブックでは、「友達」承認をした多くの人から、いろいろな画像や文章が送られてきます。送られてくると言うより、「友達」がフェイスブックに載せた情報を見ることができると言った方が正確かもしれません。

最近、このフェイスブックを通じて二つの気になる情報を得ました。一つ目は、ある人のフェイスブック上の情報が盗まれると、その人と「友達」関係にある人の情報も一緒に流出する可能性があるということです。自分自身が個人情報を適切に管理していても、「友達」から自分の個人情報が流出する可能性があるのでは、生年月日や住所、あるいは家族の写真などはフェイスブック上で明らかにするのは慎重に行った方

がよさそうです。私の場合は、すでにホームページなどでこのような情報を流していますので、いまさらなのですが。

二つ目は、コンピューターによる画像修正がここまで完璧にできるようになっているのか！という驚きの情報です。モデルさんの画像を修正する過程の動画がフェイスブックに載っていました。なにも修正を加えなくても十分魅力的なモデルさんに見えましたが、画像上で目を大きくしたり、肌の色をより白くしたり、足と胴体の長さのバランスを変えて一層足長にしたりという修正が、いとも簡単にできてしまいます。修正の結果、不自然さがなく、本人との同一性も失われず、かつ、より魅力的な画像ができあがりました。裁判では、民事事件、刑事事件を問わず、写真が客観的な証拠として頻繁に使われますが、今の画像修正技術を使えば、写真に写っている人を別の人に入れ替えるなど、真実とは異なる「客観的証拠」を作ることはたやすいことのように思えます。画像のデジタル情報を解析することで、どの程度、手を加えた痕跡を見つけ出すことができるのでしょうか。

「技術的に可能なことは、必ず実行される」という社会の経験則から考えると、厄介で恐ろしい時代になりつつあるような不安感があります。

川越市長 川合善明

未来に向けて⑦

オリンピックがやってくる2

オリンピック大会準備室
Tel 224-6315

国は、国内外からの交流人口の拡大による地域活性化や諸外国との交流による国際相互理解の増進などを目的として、東京オリンピックが開催される2020年までに、外国人観光客を現在の1000万人から2000万人に増やすことを目指しています。こうした動きを受けて、地方自治体でも地域の魅力をPRするシティセールスや地域ブランドづくりなどの取り組みが活発化しています。

川越市では東京オリンピックのゴルフ競技が霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催される予定になっていることから、これを大きなチャンスととらえ、さらなる地域活性化のため最大限に生かすべく、さまざまな施策を展開していきます。

オリンピック大会準備室では今年度、川越の魅力盛り込んだ映像を制作し、オリンピックのゴルフ競技が開催されることの周知と併せて、国内はもとより世界へ向けて発信していきます。東京オリンピックが開催されるころには、国内からも海外からも、さらに多くの観光客が川越を訪れていることでしょう。

また、東京オリンピックの開催に向けて機運を高めるため11月16日(日)に、ソウルオリンピック金メダリストの鈴木大地(すずき だいち)さんを講師に招き、「オリンピックの経験から感じ取ったこと」をテーマに講演会を開催します。詳しくは9月25日発行の広報川越・5ページをご確認ください。



小学生の下校時の立哨を熱心に行い、交通安全対策と併せて、防犯活動を推進している志多町自治会を紹介します。

志多町内の通学路には、信号機がなく見通しの良くない交差点があります。小学校側の協力により、下校の時刻やルートなどの情報を得て、老人会や隣接している自治会の方々と子どもたちを交通事故から守るために見守りを行っています。

また下校時は、不審者の子どもに対する声掛け事案が多い時間帯です。そこで「気を付けてね」などと注意を呼びかけ、防犯の取り組みを進めています。

志多町自治会では、夜間も定期的に、提灯を持ち半纏姿で声を高々に上げ、拍子木を打ち鳴らし、パトロールを行っています。さらに、「地域の安全は地域の手で」と防犯ポスターにより啓発を行ったり、広報誌「志多町ひろば」の中で防犯を呼び掛けたりするなど積極的に情報周知にも努めています。

志多町自治会は、立哨活動や防犯活動を通して他の団体と協力しながら、地域の安全安心のために日夜活動しています。



市民とともにつくる

安全で安心なまち川越

防災危機管理課 224-5554

各自の地震対策②

今回は自分でできる地震対策として、備蓄について紹介します。

大規模災害時には、電気・ガス・水道といったライフラインの寸断や物資の不足が予想されます。その時のために、最低3日分の生活必需品(食料、飲料水、トイレトペーパー、携帯トイレなど)の備蓄をお願いします。乳幼児がいれば粉ミルクや離乳食、薬を飲んでいる方がいれば常備薬など、家庭に

合わせて柔軟に備蓄品を準備してください。備蓄の際には、普段より多めに必需品を購入し、日常生活で利用しながら使った分を買い足していく「ローリングストック法」が便利です。

また、非常用持出品(救急セットや懐中電灯、ラジオ、乾電池など)をリュックサックなどに入れて玄関付近など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。欲張らず必要最小限にまとめておくことが大切です。

地震発生時にできることはとても少ないからこそ、事前の対策が重要です。



ごみ処理とびっくす

地域の環境を美化しよう!!

資源循環推進課 239-6267

雑草が生い茂る場所や人目につきにくい場所は、空き缶などがポイ捨てされやすくなります。また、すでにごみが捨てられている場所には、さらに大きなごみを不法投棄されやすいといわれています。手入れが行き届きにくい場所はごみを引き寄せやすく、小さなごみの放置は「ごみがごみを呼ぶ」原因となり、地域の環境を悪化させてしまいます。

これを防ぐためには、日ごろの環境美化が重要です。地域で草むしりやごみ拾いなどに取り組むことで、ポイ捨てなどの予防になり、周辺の環境をきれいに保つことができます。

市では、地域で清掃活動などを行っている団体に対し、ごみ袋の提供など環境美化活動への支援を行っています。詳しくは4ページの記事を確認し、制度を積極的に活用してください。地域の環境美化に取り組んでいきましょう。

「川越市ごみ分別アプリ」配信中!

ごみ出しに関する情報を手軽に確認できる、スマートフォン向けアプリを配信しています。なお、アプリは無料ですが、インターネット接続などにかかる費用は利用者の負担となります。

● iPhone 版



● Android 版

